

## EA. 教育・教材(社会教育)(VHS)

| 松江 | 浜田 | 分類番号       | 区分  | 番組名                    | 内容  | 実時間 |
|----|----|------------|-----|------------------------|---|-----|
|    | ●  | EA2004-091 | A-3 | 土曜フォーラム<br>今、ひきこもりを考える | なぜひきこもりのか、ひきこもりをしている人に、家族や社会はどのような支援を行う必要があるのか。医師や教育評論家、官民の支援団体、また、ひきこもりを経験した方を交え、ひきこもりに対する正しい理解と支援方法について話し合う。(斎藤環・尾木直樹・秋田敦子)                               | 70  |
|    | ●  | EA2012-021 | A-3 | 成年後見物語                 | 判断能力が低下した高齢者や障がい者の財産管理や身上監護を、成年後見人を行う成年後見制度の役割が高まっている。高齢者や障がい者の自律を尊重した細やかなケアは、様々な専門家が連携してこそ可能となる。この作品は、後見制度の内容を紹介するとともに若手弁護士が成長していく課程を描く。(松崎映子・藤澤よしはる・川島志保) | 54  |

## EB. 教育・教材(教材)(VHS)

| 松江 | 浜田 | 分類番号       | 区分  | 番組名  | 内容   | 実時間 |
|----|----|------------|-----|--|--|-----|
|    | ●  | EB2007-007 | B-3 | ことばおじさんのナツク日本語塾<br>こだわる  | 最近、「こだわりの一品」などと使われる「こだわる」。「こだわる」という漢字を使った熟語は、あまりよくない意味で使われるが、最近はいい意味で使われる場合が多い。「こだわる」の意味の変遷を分かりやすく紹介する。  | 5   |
|    | ●  | EB2007-008 | B-3 | ことばおじさんのナツク日本語塾<br>とんでもございません  | 「とんでもない」の丁寧語として「とんでもございません」ということばを使う人が多いが、「とんでもございません」ということば、どこか変だと感じる人は年代別によって分かれる。「とんでもない」を丁寧なことばでは何と言うのか、分かりやすく紹介する。  | 5   |
|    | ●  | EB2007-009 | B-3 | ことばおじさんのナツク日本語塾<br>情けは人のためならず  | 「情けは人のためならず」ということばの意味は、「情けをかけるのは、その人のためにならない」という意味なのか、「情けは、その人のためにかけるのではない」なのか、意見は分かれる。どちらが本来の意味なのか分かりやすく紹介する。   | 5   |
|    | ●  | EB2007-010 | B-3 | ことばおじさんのナツク日本語塾<br>全然大丈夫   | 最近、若者を中心に「全然大丈夫」など、頭に「全然」をつけて話すことばが多い。本来、頭に「全然」が付くと最後の文に打ち消しのことばをつかうはずだと思う人は多い。「全然」の使い方について分かりやすく紹介する。   | 5   |
|    | ●  | EB2007-011 | B-3 | ことばおじさんのナツク日本語塾<br>他人事   | 「他人事」という漢字は「ひとごと」と読むのか、「たにんごと」と読むのか。また、「お手数」という漢字の読みは「おてすう」「おてかず」の両方使われている。本来、どのように読むのが正しいのか、分かりやすく紹介する。   | 5   |
|    | ●  | EB2008-003 | B-2 | 国立国語研究所<br>「ことばビデオ」シリーズ<br><豊かな言語生活をめざして>1<br>相手を理解する 言葉の背景を見つめると...         | 言葉を用いたコミュニケーションの場では、時に行き違いや誤解が生じる。作品では、そうしたコミュニケーションにおける戸惑いやつまづきの具体例をドラマ仕立てで取り上げ、なぜそれらが起きるのか、どうしたら防げるのか、起きてしまった場合どう対応すればよいのかを考える。文部科学省特別選定。<br>第1話 「すみません」のコミュニケーション、第2話 いきいき方言、第3話 丁寧な言葉はどんなときに？、第4話 ほめるのは難しい、第5話 「あいまいな言葉」の中に、第6話 多様性を見つめて。<br>〔製作：東京シネ・ビデオ株式会社〕 | 38  |
|    | ●  | EB2008-004 | B-2 | 国立国語研究所<br>「ことばビデオ」シリーズ<br><豊かな言語生活をめざして>2<br>コミュニケーションの「丁寧さ」「ほめる」というのはたつきかけ | 丁寧なコミュニケーションとはどんなものだろうか。敬語を使う・言い方を工夫する・言葉以外の丁寧さなど、生活の中のさまざまな場面での会話を取り上げ、「人が丁寧だと感じるコミュニケーション」について考える。<br>作品後半は「ほめる」について。ほめられることによってやる気が出たり、人間関係がスムーズになったりする様子を見ながら、「ほめる」ことのはたつきを考える。〔製作：東京シネ・ビデオ株式会社〕   | 46  |
|    | ●  | EB2008-005 | B-2 | 国立国語研究所<br>「ことばビデオ」シリーズ<br><豊かな言語生活をめざして>3<br>方言の旅                           | 方言をテーマにレポートを書くことにした女子大生が、山形県の庄内地方を訪れ、生きた方言に触れる中で方言に存在する文法や変化、若者と高齢者の使う方言の違いなどを言語地図などの資料を参考に考察する。〔製作：東京シネ・ビデオ株式会社〕  | 52  |
|    | ●  | EB2008-006 | B-2 | 国立国語研究所<br>「ことばビデオ」シリーズ<br><豊かな言語生活をめざして>4<br>暮らしの中の「あいまいな表現」                | 日々の暮らしの中では、あいまいな表現が元で誤解が生じることがある反面、はっきりとした表現を避けることで、人間関係がうまくいくことも多い。この作品では、幾つかのあいまいな表現を取り上げ、その働きや問題点を考えるとともに、問題が起きやすいケースについては改善策も提案する。〔製作：東京シネ・ビデオ株式会社〕  | 35  |
|    | ●  | EB2008-007 | B-2 | 国立国語研究所<br>「ことばビデオ」シリーズ<br><豊かな言語生活をめざして>5<br>日本語の音声に耳を傾けると...               | 話しことばには、声の調子によって、気持や意図を伝えられるという面がある。ふだん、特に意識せずに話している音声の部分に注目して、音声の果たす役割を考える。<br>3話構成。第1話 気持や意図を伝える音声、第2話 方言の中の音声、第3話 外国人の話す日本語の音声。〔製作：東京シネ・ビデオ株式会社〕  | 35  |